

DX 人材育成事業について

1. 概要

第8次八戸市行財政改革大綱及び八戸市人材育成・確保基本方針に基づき、全庁的なDX推進体制を構築し、実務と学習の両立によるデジタル人材育成・確保を図る。

2. デジタルイノベーションチームの設置

- (1) 目的：DXにおける中核人材（DX推進エキスパート）の育成
- (2) メンバー構成（令和7年6月選定予定）
 - ・ 庁内公募により10名程度選出（応募時に簡単な志望動機等を提出、書類選考）
 - ・ 選考・最終決定：総務部（情報政策課、行政管理課、人事課で協議）
- (3) チーム体制
 - ・ 総括：情報システム調整監、デジタル推進室長
 - ・ メンター：
 - ◇ デジタル推進専門員
 - ◇ 情報政策課職員（3名程度、プロジェクト伴走支援）
- (4) 活動内容（実務ベースで実施）
 - ・ 庁内の課題を起点としたプロジェクト実践として次の業務を想定
 - ◇ RPAによる業務自動化（給与関係庶務業務など）
 - ◇ AIを活用した議会関係資料作成支援
 - ◇ 市HPにおけるAIガイド
 - ◇ 電子決裁（簡易版）の導入
 - ・ 主業務に支障が出ない範囲での業務従事（週4時間～6時間目安）
 - ・ 行政管理課・人事課との連携体制のもと推進
- (5) DX関連資格取得の促進（学習支援）
 - ・ 学習環境（情報政策課会議室）の提供
 - ・ テレワーク勤務を活用した学習時間確保
 - ・ 個別学習計画作成（初期研修で作成し、3か月ごとに見直し）
- (6) スケジュール
 - ・ 5～6月 メンバー公募・選考 初期研修
 - ・ 7～9月 プロジェクト課題の設定 システム開発
 - ・ 10～12月 プロジェクトの小規模実装
 - ・ 1～3月 実装フェーズ移行、成果発表・活動報告会、次年度以降の体制検討
- (7) その他
 - ・ チームメンバーの活動発表による庁内横展開の促進
 - ・ 人事評価への反映

3. 研修について（市民参加も含む）

（1）全体研修

① RPAハンズオン研修

日 時：令和7年7月2日（水） 9:30～16:30
場 所：デーリー東北新聞社1階 デーリー東北ホール
参加対象：市職員、連携中枢都市圏構成町村職員
内 容：1. オリエンテーション（研修概要の説明）
2. DX/RPA概要説明
3. 青森県庁内DX取組事例紹介
4. 業務プロセス分析ワークショップ
5. RPAハンズオン（自治体による調査業務の自動化想定）

② Canvaハンズオン研修

日 時：令和7年7月18日（金） 14:00～16:00
場 所：デーリー東北新聞社1階 デーリー東北ホール
参加対象：市職員、企業従事者、市内の大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の学生
内 容：Canvaを使用したチラシ作成等

③ RPA・AI構築 ハンズオン研修

日 時：令和7年8月8日（金） 9:30～16:30
場 所：ばんらぼ（番町サテライトキャンパス）
参加対象：市職員、市内の大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の学生
内 容：1. オリエンテーション（研修概要の説明）
2. DX/RPA概要説明
3. 業務プロセス分析ワークショップ
4. RPAハンズオン（問合せ対応の自動化）
5. AIツール（Dify）概要説明
6. AIアプリ構築ハンズオン

④ RPA×生成AI×プログラミング ハンズオン研修

日 時：令和7年8月28日（木） 9:30～16:30
場 所：デーリー東北新聞社1階 デーリー東北ホール
参加対象：市職員、市内の大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の学生
内 容：1. オリエンテーション（研修概要の説明）
2. DX/RPA概要説明
3. RPAハンズオン（調査業務の自動化）
4. 生成AI×Pythonプログラミング活用事例紹介
5. 生成AI×Pythonプログラミング ハンズオン

（2）応用・実践研修

内容については、参加者のニーズや希望するテーマをもとに、以下のような内容を想定している。

- ・ 各所属におけるRPA・AIツール導入に向けた個別開発
- ・ 実際の業務プロセスを題材にしたRPA構築のサポート
- ・ チーム単位でのデジタルツール活用演習